



Oct. 2026 Vol. 291

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階 <https://www.jfa-tanzo.jp>
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470 e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

一般社団法人日本鍛造協会
編集発行 広報委員会

会員相互交流会のご案内

来る11月18日(水)に第75回理事会及び令和8年度協会表彰式を開催するにあたり、表彰式終了後に下記講演及び被表彰者の祝賀並びに会員間の交流を深める場として交流会を開催いたしますので、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

(会員の皆様には別途ご案内しています。)

開催日：令和8年11月18日(水)

開催場所：KKRホテル東京

講演会 15:20～16:50

会場：11階「白鳥」

講演：『大相撲に学ぶ人間力の高め方』

株式会社ちゃんこえ 代表取締役

田中 知子 氏

参加費：無 料

交流会 17:00～18:30

会場：11階「丹頂」

参加費：無 料

参加のお申し込みは (一社)日本鍛造協会まで

会場アクセス

住 所：東京都千代田区大手町1-4-1

・東西線「竹橋駅」3b出口直結：徒歩3分

・千代田線「大手町駅」C2出口：徒歩7分

・都営地下鉄「神保町駅」A9出口：徒歩7分

・東京駅：徒歩20分

タクシーをご利用の際は、東京駅より、約5～10分 東京駅(丸の内南口)より「KKRホテル東京」とお伝えください。

第74回 理事会 議事録

開催日時	令和8年9月25日(金)	14時00分
開催場所	北陸工業株式会社	
理事総数	23名	出席理事 17名

●審議事項

第1号議案 令和8年度被表彰者(社)候補承認の件

議長の指示により、専務理事が、資料に基づき、令和8年度被表彰者(社)候補である、功労者4名、優良従業員16名、人材育成事業貢献企業9社、環境保全優良企業「省エネ部門」1社、「環境保全部門」1社について説明した。また、表彰式の当日、鍛造設備保全マイスター候補4名の表彰を執り行うことを報告した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第2号議案 会員入会の件

議長の指示により、専務理事が資料に基づき、正会員法人として入会希望があった旭鉄工株式会社について説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

●報告事項

(1) 第3回自動車サプライチェーン取引適正化会議の件

議長より、9月14日に開催された「第3回自動車サプライチェーン取引適正化会議」に関して報告した。本会議は「補給品」「代金決定」がテーマとなっており、議長より会議概要をはじめ当日発表した「鍛造業界からみた取引適正化の現状と今後の課題」と題する資料に関して説明した。

(2) 取引相場のない株式の評価に関する件

議長より、国税庁が2026年4月より開催している「取引相場のない株式の評価に関する有識者会議」について報告した。同会議は、非上場株式(自社株)の相続税・贈与税における評価ルールを約62年ぶりに抜本的見直しを行うべく開催され、本会合の内容は、今後の中小企業の事業承継に極めて大きな影響を及ぼす可能性がある旨を説明した。当協会としては、他の素形材団体とも連絡を取り合い、素形材業界団体としての要望書を取り纏め、何らかの形で陳情していくことと了承された。

MANYO

ビレットシャー 30TON～1300TON

フォーGINGロール FR120～FR960

プレス 50TON～3000TON

アブセッター 200TON～2300TON



Tel 06-6458-0481

人材育成事業報告

◆令和8年度鍛造マネージャー育成塾成コース

「科目7 熱間鍛造品の工程設計」実施

去る10月1日(木)－2日(金)、すみだ産業会館（東京都墨田区）において実施しました。

1日目は、材料選定から後処理までの工程設計について、多様な実例を用いながら座学講義を実施しました。その後、本科目に関連する日常課題とその対策案を討議しました。各社に共通する課題事例が多く挙がり、活発な意見交換の場となりました。

2日目は、据込み加工と伸ばし成形の座学講義の後、工程設計と荒地設計のグループ演習を行いました。演習課題の鍛造品を生産するため、その工程と荒地形状を討議・作図し、プレゼンテーションを行いました。次回の科目8では、作成した荒地形状をCAE解析する演習を予定しています。



◆令和8年度鍛工品製造業実践型人材養成コース

「教科6 型設計」実施

去る9月3日(木)－4日(金)、すみだ産業会館（東京都墨田区）において実施しました。

鍛造金型の概要から講義がはじまり、金型材料や加工法、表面処理法を学びました。鍛造品設計における留意事項や鍛造品の公差について、細部にわたり解説いただき、現場で活用するための実践的なポイントを押さえました。金型設計では、熱間鍛造品における高温から常温になる過程で収縮することを見込んで、型彫り寸法を調整する必要があるなど、様々な因子を考慮しながら伸び尺を適切に設定することが重要であると理解し、どのように設計すれば欠陥の発生を防げるのかを考える視点を養いました。鍛造において重要な型潤滑や型寿命についても学び、現場での作業に活かせる知識を身につけました。

さらに、3D CADや鍛造解析についても取り上げられ、計算式だけでなく解析結果を用いて具体的に解説いただきました。計算や解析の結果だけに頼るのではなく、実際に検証することの大切さや、その結果を自社の設備や製造条件に合わせて調整していく必要性についても理解を深めました。

また、チームで問題を解き、その結果を発表する演習も多く、受講生同士で意見を交わしながら理解を深める充実した時間となりました。



令和8年度 生産性向上支援訓練 開催報告

独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構の委託事業であるオンライン生産性向上支援訓練の第3回を下記のとおり開催し、10名が受講しました。

【第3回】『RPAを活用した業務効率化・コスト削減』

【開催日】 9月16日(水) 10:00～17:00

【講師】 NPOテクノサポート

講師 渡辺 郁雄氏

【内 容】

1. 業務を自動化するRPA
2. RPAを活用した業務効率化とコスト削減策立案

【参加者の感想】

- ・個々の作業だけを見るのではなく、前後の工程や関係部署まで含めて業務プロセスを整理する考え方が特に参考になった。
- ・学んだ内容をもとに、自身の業務でRPAを活用するために、情報やデータ整理の必要性を感じた。
- ・業務プロセスを可視化したうえで、RPAに任せられる定型作業と、人が判断すべき業務を切り分けたいと思う。単なる作業時間の削減だけを目的とせず、入力ミスの防止、情報共有の迅速化、業務の標準化まで含めて、実際の業務改善に活用していきたい。